

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語			出版社名	大修館書店	
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。 3 言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考查
	5月	2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月	3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	期末 考查
	7月	自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月	4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考查
	9月	クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月	6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。	期末 考查
	11月	7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。 ○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。 ○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	
3 学期	1月	豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	文学国語	学年	3年(普通科 探究類型 文系、教養類型、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 標準文学国語			出版社名	第一学習社	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
	2	深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりの中で自分の考えを広げます。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむことで自己を向上させます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部 現代の小説(三)	○ 物語の展開や表現の特色を的確に捉え、読解力を養います。	中間 考查  期 末 考 査
	5月	近代の小説(二)	○ 作品に表れているものの見方を読み取り、自分のものの見方を深めます。	
	6月		○ 物語の内容や描写を踏まえ、解釈の多様性について考察します。	
	7月	テーマを決めて短歌・俳句を作る	○ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学びます。	
2 学期	8月	近代の詩	○ 表現上の特徴に着目して文語詩や口語詩を読み味わいます。	中間 考 査  期 末 考 査
	9月		○ 詩に描かれている心情や考え方を読み取り、豊かな感性を養います。	
	10月	現代の小説(四)	○ 登場人物の行動や情景描写の仕方に着目し、登場人物の心情の変化を読み取ります。	
	11月	物語を創造する (物語を発言する力)	○ 読書の意義と効用について理解し、進んで読書をする態度を養います。	
	12月	戦争と文学(二)	○ 文体の表現や技法に注意して、人物の心情や情景を描写します。	
3 学期	1月		○ 読み手の関心が得られるよう、構成や展開を工夫して文章を書きます。	学 年 末 考 査
	2月		○ 出来事の経緯や人物の発言をもとに登場人物の心情を読み取ります。	
	3月		○ 文学作品の主題を的確に読み取り、戦争や平和について自分の考えを深めます。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高校生の地理総合			出版社名	帝国書院	
	副教材	準拠ノート(帝国書院)					

学習の目標	1	様々な地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図等を利用する技能を身に付けます。
	2	地球的課題が互いに関係合っていることを理解し、持続可能な取組について考えます。
	3	人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1部 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図	○ 地球儀や様々な地図から地図や地理情報システムの役割や有用性を理解します。	中間 考查
	5月	2節 地図と地理情報システム	○ 領土問題、世界の国々の結びつきについて地図を通して多面的・多角的に考察し表現します。	
	6月	2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域		
		2節 地図から見る国内や国家間の結びつき		
2 学期	7月	第2部 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性の背景や世界の生活文化の相互関係を見いだすための地理的見方・考え方を身に付けます。	期末 考查
	8月	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現します。	中間 考查
	9月	5節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ～ アフリカ ・ヨーロッパ ～ アメリカ ・オセアニア		
	10月	2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 2節 食料問題	○ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだします。	
11月	3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題	○ 国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解します。	期末 考查	
3 学期	12月	6節 地球環境問題	○ 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解します。	学年 末 考 査
	1月	第3部 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望		
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 主体的に教科書を読むなど、授業の中で分からないことを解消させていきましょう。 2 小テストや定期考查に備えて、計画的に学習に取り組みましょう。 3 提出物は期限を守って必ず提出するようにしましょう。		

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	政治・経済			出版社名	東京書籍	
	副教材	2024政治・経済ワークブック(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて必要な概念や理論を理解します。
	2	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付けます。
	3	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	○ 政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。	中間 考查  期末 考查
	5月	2節 日本国憲法の基本原則	○ 大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。	
	6月	3節 日本の政治機構	○ 国会、内閣、裁判所の権限や組織のしくみについて理解します。	
	7月	4節 現代政治の特質と課題	○ 議会制民主主義において政党が必要な理由や、日本の選挙制度の特徴について理解します。	
2 学期	8月	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	○ 経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	中間 考查  期末 考查
	9月	2節 現代経済のしくみ	○ 家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。	
	10月	3節 日本経済の発展と現状	○ 日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。	
	11月	4節 福祉社会と日本経済の課題	○ 労働問題が発生する理由や、社会保障制度の発展と変化について理解します。	
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	○ 国際社会の秩序維持の要因や国際法の特徴について理解します。	
3 学期	1月	2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題	○ 貿易の意義や現代の国際通貨体制の変遷、経済のグローバル化の進展や近年の国際金融の変化について理解します。	学年 末 考 査
	2月	第3章 国際社会の諸課題	○ 多文化共生をめぐる現状や貧困と開発援助の現状について理解します。	
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧にしましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 三角関数・指数関数・対数関数、微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法	○弧度法で表された三角関数の値を求められるようにします。	中間 考 査
	5月 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式 第2節 加法定理	○三角関数の特徴を理解し、三角関数のグラフをかけるようにします。	
	6月 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	○加法定理を理解し、種々の三角関数の値が求められるようにします。	
2 学期	7月 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ	○指数関数の特徴を理解し、グラフをかけるようにします。	期 末 考 査
	8月 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数	○対数関数の特徴を理解し、グラフをかけるようにします。	
	9月 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法	○微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。	
	10月 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 微分法の公式 4. 接線 5. 関数の増減	○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。	
	11月 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小 8. 方程式・不等式への応用	○3次関数のグラフを利用し、極値や最大値・最小値、3次方程式や3次不等式の解を求められるようにします。	
	12月 第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分	○積分の考え方を理解し、不定積分や定積分の計算ができるようにします。	
3 学期	1月 12. 定積分の性質 13. 面積	○定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。

評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。
-------	---

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えてみましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(普通科 教養類型、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂 生物基礎			出版社名	第一学習社	
	副教材	エッセンスノート(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 3編 生物の体内環境の維持 3章 生物の体内環境 1節 体液とその働き 2節 生体防御	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習します。 ○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解します。 ○生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。	中間考查  期末考查
	5月		
	6月 3節 体内環境維持のしくみ		
	7月		
2学期	8月 4編 生物の多様性と生態系 4章 バイオームの多様性と分布	○生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。 ○陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解します。 ○気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解します。 ○生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解します。 ○生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識します。	中間考查  期末考查
	9月 1節 生物の多様性とバイオーム		
	10月 2節 バイオームの形成過程 3節 バイオームとその分布		
	11月 5章 生態系とその保全 1節 生態系		
	12月 2節 生態系のバランスと保全		
3学期	1月 3節 生態系の保全	○生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、生物学的に探究する能力を高めます。	学年末考查
	2月		
	3月		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。
評価の方法	定期考查の得点と提出課題、小テストなどを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行きましょう。 3 定期考查には全力で臨みましょう。		

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にす資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查  期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查  期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅱ			出版社名	三省堂	
	副教材	チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語(数研出版)					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。 3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 1 I Love My Country!	○ 様々な時制の動詞を使って、好きな場所を紹介する原稿を書きます。	中間 考查
	5月	Lesson 2 The New Wave of Sports	○ 助動詞表現を使って、最新のものを紹介します。	
	6月	Lesson 3 The Future of Technology	○ 受動態や不定詞を使って、贈り物について説明する文章を書きます。	
	7月	Lesson 4 Rediscover Kabuki	○ 不定詞・知覚動詞・使役動詞を使って、日本の文化を紹介します。	
2 学期	8月	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	○ 動名詞や分詞構文を使って、社会の状況と職業についてのレポートを書きます。	中間 考查
	9月	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	○ 比較表現を使って、世界や日本で有名な場所を紹介します。	
	10月	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	○ 関係詞を使って、火星での生活についてのレポートを書きます。	
	11月	Lesson 8 Language and Society	○ 仮定法を使って、「もし○○がなければ」というタイトルの発表をします。	
3 学期	12月	Lesson 9 Send Our Love to the World	○ 否定表現や代名詞を使って、社会問題についての発表原稿を書きます。	期末 考查
	1月	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	○ 無生物主語構文を使って、関心のある人物を紹介します。	学年 末 考 査
	2月			
3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。		



教科	商業	科目	ビジネス基礎	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	ビジネス基礎			出版社名	実教出版	
	副教材	ビジネス基礎準拠問題集 全商商業経済検定模擬試験問題集3級ビジネス基礎 全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集 1級					

学習の目標	1 ビジネスの諸活動で活用する能力と態度を育成します。 2 全商商業経済検定試験3級程度の知識を身に付けます。 3 全商ビジネス計算実務検定試験1級程度の知識を身に付けます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 商業の学習ガイダンス 1. 21世紀にはばたく	○ 商業の学習について関心を持ち、ビジネスに関する専門知識を学ぶ上で基礎的・基本的な学習の重要性について理解を深めます。	中間 考查
	5月	2. しっかり楽しく学んでいこう	○ 商業の科目と職業について関心を持ち、卒業後の進路を意識して学習することの意義について理解を深めます。	
	6月	第2章 経済と流通の基礎 1. 経済のしくみとビジネス	○ 経済の仕組みに関する基礎的・基本的な知識を身に付けます。	
7月	2. 社会の変化とビジネスの発展	○ 我が国における経済の歴史について学ぶとともに現代のビジネスに関する現状について理解を深めます。		
2 学期	8月	第3章 ビジネスの担い手 1. ものの生産者	○ 現代の経済においてビジネスの担い手が担う役割や仕事の概要について理解を深めます。  ○ 経済の発展に伴う、ビジネスの変化について考察します。  ○ 企業の目的について学び、企業形態や経営組織の種類、特徴について理解を深めます。資金調達の方法や企業が納める税の種類、雇用形態の特徴、企業に求められる倫理に関する基礎的、基本的な知識を身に付けます。	中間 考查
		2. サービスの生産者		
	9月	3. 小売業		
		4. 卸売業		
	10月	5. 物流業		
	6. 金融業			
	7. 情報通信業者			
11月	第4章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業	○ 企業の目的について学び、企業形態や経営組織の種類、特徴について理解を深めます。資金調達の方法や企業が納める税の種類、雇用形態の特徴、企業に求められる倫理に関する基礎的、基本的な知識を身に付けます。	期末 考查	
	2. 資金調達			
12月	3. 企業活動と税			
	4. 雇用			
	5. 企業倫理			
3 学期	1月	第5章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順	○ 売買取引の手順について学び、その意義や実践的な態度を身に付けます。  ○ 代金決済の手段と特徴について理解を深め、適切な代金決済を行うための判断力を身に付けます。	学年 末 考 査
		2. 代金決済		
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだすことができる。ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。ビジネスにおける情報処理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組む姿勢や取得状況も評価の対象とします。		
学習へのアドバイス	1 教科書、問題集の例題・練習問題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心をもつようにしましょう。 3 検定試験に積極的に取り組みましょう。		

教科	商業	科目	ビジネス・コミュニケーション	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	ビジネス・コミュニケーション			出版社名	実教出版	
	副教材	ビジネス・コミュニケーション準拠問題集 全商英語検定試験問題集 2・3級 全商ビジネスコミュニケーション検定試験テキスト					

学習の目標	1 ビジネスの諸活動で活用する能力と態度を育成します。 2 全商ビジネスコミュニケーション検定試験合格程度の知識を身に付けます。 3 全商英語検定試験3級程度の知識を身に付けます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1編 1章 企業の組織と人間関係 1. 企業の組織と意思決定	○ 組織の構造と意思決定の関係を理解する。業務の適切な進行方法やそれを実践する重要性を理解する。業務の効率化に必要なスケジュール管理方法を理解する。社会人としての心構えと良好な人間関係を築く必要性を理解する。  ○ 場面に応じた挨拶やお辞儀を理解し、実践する。身だしなみ・表情・身のこなしなどを理解し、実践する。敬語やコミュニケーションの言葉など、適切な言葉遣いを理解し、実践する。	期末考査
	5月	2. 業務の進行方法 3. 仕事に対する心がまえ 4. 人的ネットワークの構築		
	6月	2編 2章 応対に関するビジネスマナー 1. 挨拶		
	7月	2. 身だしなみ・表情・身のこなし 3. 言葉遣い 4. 名刺交換と紹介		
2 学期	8月	5. 訪問・来客の応対 6. 電話の応対 7. 席次のマナー	○ 訪問・来客の対応などを理解し、実践する。電話対応における適切なコミュニケーションを理解し、実践する。	期末考査
	9月	3章 交際に関するビジネスマナー 1. 交際のマナー 2. 食事のマナー	○ 冠婚葬祭の基礎知識とマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。	
	10月	4章 接客に関するビジネスマナー 1. 接客 2. ホスピタリティの概念と重要性	○ 効果的な接客に必要な知識や態度について理解し、実践する。ホスピタリティについて理解し外国人に対する接客の注意点について考察する。	
	11月	3編 5章 コミュニケーションの役割 1. コミュニケーションの役割	○ ビジネスコミュニケーションの役割と種類を学習し、その重要性を理解する。ビジネスコミュニケーションの場面と心得を理解する。論理的な考え方やビジネスにおけるフレームワークを理解する。	
	12月	2. ビジネスコミュニケーション 3. ビジネスにおける思考方法 4. ディベート		
3 学期	1月	6章 ビジネスにおける コミュニケーション 1. ディスカッション	○ ディスカッションの方法や意義を理解し、討論することができる。プレゼンテーションツールを使い、分かりやすい発表を行うことができる。	学年末考査
	2月	2. プレゼンテーション		
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例などについて科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。	自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組む姿勢や取得状況も評価の対象とします。		
学習へのアドバイス	1 教科書、問題集の例題・練習問題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心をもつようにしましょう。 3 検定試験に積極的に取り組みましょう。		

教科	商業	科目	マーケティング	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	マーケティング			出版社名	実教出版	
	副教材	マーケティング準拠問題集 全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級 マーケティング全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 1級					

学習の目標	1 ビジネスの諸活動で活用する能力と態度を育成します。 2 全商商業経済検定試験1級程度の知識を身に付けます。 3 全商ビジネス文書実務検定試験1級程度の知識を身に付けます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月	1章 現代市場とマーケティング 1. 現代市場の特徴 2. マーケティングの概要	○ 環境保全への社会的意識が高まり、グリーンコンシューマリズムへと発展したことを認識させる。	期末考査
	5月	2章 市場調査 1. 市場調査の意味 2. 市場調査の手順	○ 全体として「調査課題の設定→調査進行計画の策定→調査組織の編成→調査予算の計上→調査活動の実施→調査結果の報告」の手順を一通り体験させる。調査活動は「状況分析→予備調査→本調査」の手順で進めさせる。本調査は、標本調査を採用して「調査目標の具体化→質問票の作成→母集団の設定→標本の抽出→資料の収集・集計・分析・解釈」の手順で進めさせる。	
	6月	3. 実態調査の方法 4. 市場調査の実習		
	7月			
2学期	8月	3章 消費者行動 1. 消費者行動と購買 2. 購買意思決定過程	○ 購買を消費者による問題解決行動として位置づけ、5段階からなるその意思決定過程を概観させる。AIDAS理論を取り上げて、消費者が受けとる情報や刺激について認識させる。	期末考査
	9月	3. 製品のライフサイクルと普及		
	10月	4章 販売計画 1. 販売計画と販売予測 2. 販売計画の立案・実施・統制	○ 販売計画は、企業の積極的な意思を示し、マーケティング計画策定の前提となることを理解させる。時系列分析や指数計算といった計数把握の視点を養う。	
	11月	5章 製品計画 1. 製品計画の概要 2. 製品ミックスと製品政策 *製品開発(商品開発)	○ 商品計画の概念には多様なとらえ方があることを認識させ、製品計画は、企業の利益の実現と社会の長期的発展の基礎となるものであることを認識させる。製品計画の立案にあたっては、消費者ニーズの把握が重要であることを認識させる。	
3学期	1月	6章 仕入計画と商品管理 1. 仕入計画 2. 商品管理	○ 仕入計画の立案においては、仕入優先ではなく、販売優先の考え方が重要であることを認識させる。	学年末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	マーケティングに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、マーケティング活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。マーケティングの意義や役割について理解している。	マーケティング活動を計画的、合理的に行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。マーケティングの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだすことができる。	マーケティングについて関心を持ち、マーケティング活動を計画的、合理的に行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、マーケティング活動を行う実践的な態度を身に付けている。マーケティングについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組む姿勢や取得状況も評価の対象とします。		
学習へのアドバイス	1 教科書、問題集の例題・練習問題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心をもつようにしましょう。 3 検定試験に積極的に取り組みましょう。		

教科	商業	科目	情報処理	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	情報処理			出版社名	東京法令出版	
	副教材	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1・2級、全商情報処理検定模擬試験問題集1・2級(実教出版)					

学習の目標	1	ビジネスの諸活動で活用する能力と態度を育成します。
	3	全商情報処理検定試験1・2級程度の知識を身に付けます。
	3	全商ビジネス文書実務検定試験1・2級程度の知識を身に付けます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1章 企業活動と情報処理 第1節 ビジネスと情報	○ ビジネスにおける情報の意義と役割を理解して高度情報通信社会におけるルールやマナーを身に付けます。目標に合ったハードウェア、ソフトウェアの知識を習得します。  ○ 情報通信ネットワークの役割と仕組みやビジネスの関わりを理解します。  ○ ネットワークの形態や性能評価を理解して、通信速度の計算を習得します。	期末考査
	5月	第2節 コミュニケーションと情報デザイン 第3節 情報モラル		
	6月	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 第1節 コンピュータシステムの概要		
	7月	第2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 第3節 通信ネットワーク活用		
2 学期	8月	第4節 情報セキュリティの確保 第3章 情報の集計と分析	○ 情報通信においてセキュリティ管理を高める方法を理解します。  ○ 表計算ソフトウェアの基本操作方法を習得します。  ○ 基本的な関数から応用的な関数の利用方法を習得します。  ○ グラフの種類と特色を理解し、目的に応じて作成する技術を習得します。  ○ ビジネス文書の役割や基本的な構成要素、表現方法などを理解させ、効果的な画像処理や編集技術を習得します。  ○ 基本的・応用的な通信文書を作成するための知識・技術を習得します。	期末考査
	9月	第1節 ビジネスと統計 第2節 表グラフの作成と表計算ソフトウェアの特徴		
	10月	第3節 情報の分析 第4節 問題の発見と解決の方法		
	11月	第4章 ビジネス文書の作成 第1節 文章の表現 第2節 文書作成ソフトウェアの特徴		
12月	第3節 ビジネス文書種類と作成			
3 学期	1月	第5章 プレゼンテーション 第1節 プレゼンテーション技法 第2節 プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用	○ プレゼンテーションソフトを利用してスライドや資料を作成し、効果的なプレゼンテーションの力を養います。	学年末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報の収集・処理・分析・表現について関心をもち、ビジネスの諸活動において情報を活用する知識と技能を身に付けている。	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだすことができる。	企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な態度を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画している。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組む姿勢や取得状況も評価の対象とします。		
学習へのアドバイス	1 教科書、問題集の例題・練習問題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心をもつようにしましょう。 3 検定試験に積極的に取り組みましょう。		

教科	家庭	科目	生活と福祉	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型 選択)	単位数	2
教材	準教科書	生活と福祉			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 高齢者の健康と生活について理解します。 2 介護などに関する知識と技術を習得します。 3 高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 2節 ライフステージと健康管理	○健康の概念と健康状態に影響を及ぼす要因について理解します。 ○社会福祉協議会の方の福祉についての講話を聞きます。	期末考查
	5月	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	○日本の高齢化の現状について理解するとともに将来の高齢社会の在り方を考えます。 ○デイサービスでの実習を通して、高齢者の心身の特徴を理解します。	
	6月	1節 高齢化の現状 2節 高齢者の心身の特徴と病気 3節 高齢者の生活課題と施策		
	7月			
2 学期	8月	3章 高齢者の自立生活支援 1節 自立生活支援の基本となる考え方	○高齢者の自己決定に基づく自立生活支援の重要性について理解します。 ○福祉施設を訪問し、介護と介護予防について考えます。	期末考查
	9月	2節 高齢者介護	○高齢者福祉に関する法規や制度の目的と概要について理解します。 ○高齢者に関する保健・医療・福祉サービスについて理解します。 ○福祉施設を訪問し、高齢者支援の課題と展望について考えます。	
	10月	4章 高齢者支援の法律と制度 1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ		
	11月	2節 介護保険制度 3節 高齢者支援と地域包括システム		
12月				
3 学期	1月	5章 介護・看護の実習と生活支援 1節 介護の実習	○福祉施設を訪問し、介護の現状を見学・体験します。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会福祉の実践において必要な知識について理解しているとともに、それに関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、援助者として、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	社会福祉の向上を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、実習に取り組む態度等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 実習科目であるので、欠席しないで意欲的に取り組みましょう。 2 授業中はしっかり話を聞き、理解し、考え、自分の意見をもちましょう。 3 学んだこと、経験したことを将来の実生活に生かしていきましょう。
-----------	---